

カンサス：小麦作柄と気象状況

2005年8月2日

2005年7月31日現在：

7月31日に終わる1週間の気温は多少落ち、驟雨が各地にあった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.0日（前週：6.3日）であった。最高気温はNW地区では99度F、SW地区で101度Fと成ったが、その他の観測所では92～97度Fであった。降雨はNW地区NC地区に多く記録され、NC地区の多い所では3.79インチを記録した。土壌水分はNC地区では改善したが、他の地区では特に改善は見られなかった。

品質概況：カンサス州農業統計局及び Kansas Grain Inspection Service Inc. の7月28日発表による品質概況（57郡の8,003貨車ロットサンプル）の分析結果は次の通りであった。

Crop	Test Weight Lbs/bu	Protein % Mois. 12 % basis	Moisture %	Grade		Damaged Total %
				No. 1	No. 2	
2005	61.0	12.3	11.3	81	18	0.2
2004	59.7	12.8	11.6	51	36	0.7
10 Yr Ave.	60.3	12.1	11.6	NA	NA	0.2

10 Years Average : 1994-2003

Shrunken & Broken kernels の平均値は1.2%、2004年産平均値は1.3%、10年平均値は1.6%であった。

州政府の品質調査プログラム以外に、3,858個の自主サンプルが Kansas Grain Inspection Service で分析され、その結果では、平均容積重は60.7 lbs/bu、蛋白質：12.5%、水分11.3%であった。これ等の格付けでは47%がUS No. 1、47%がUS No. 2、No. 3が5%それ以下が1%であった。昨年自主検査に持ち込まれた総サンプル12,862個の分析値の平均では、容積重：58.7lbs/bu、蛋白質：13.2%、水分：11.6%であった。

生産量予想：

7月1日付けUSDA冬小麦の生産予想では、単位収量は39.0 bu/acとなり、6月1日予想より1.0 bushelsの減少となったが、昨年実績（37.0 bu/ac）より良い結果であった。6月の完熟期の天候不順、低温がマイナス要因と思われるが、品位的には高容積重が期待される。詳細は別表の通り。

土壌水分状況：2005年7月31日現在

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	2	41	42	7	23	7	11	2	8	17	12	1
Short (%)	60	41	58	37	41	55	57	59	46	49	48	11
Adequate (%)	38	18	0	56	36	38	32	39	46	34	40	82
Surplus (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6

Subsoil

Very Short (%)	0	29	44	7	6	12	5	0	0	12	9	10
Short (%)	73	44	42	41	50	41	39	54	25	45	39	25
Adequate (%)	27	27	14	52	42	47	56	46	75	43	52	64
Surplus (%)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1

Week means Last Week, Year means Last year.

Source : Kansas Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA発表の冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
Crop							
KS	8,500	9,600	37.0	40.0	39.0	314,500	374,400
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com